

男女共同参画社会を考える 7

男女共同参画プラン&
エンゼルプラン策定委員会に参加して

委員 岡本 葉子さん



「男尊女卑」に代わって「男女平等」の言葉が使われるようになって久しい。21世紀になってやっと「男女共同参画社会」が実現に向かい始めてきた。

広島市では、政令都市で初めて女性助役を公募、「女性も男性も職場で着実にキャリアを積み重ねながら、子育てや地域での生活を楽しめるような社会を目指したい」という。女性も意識改革の時ではないか。理想とする男女共同参画社会実現には、幅広く限らない問題がある。その中、

で、まず思い浮かぶ「少子高齢化」問題。

子育ての環境を考えると、子供を産みたいと思える社会、例えば女性が子育てと仕事を両立できる条件が整っていない。男性は長時間、職場に縛り付けられ、女性は「子育てと家事の主役」から開放されない。

この国の将来を担う子供の未来は、まず大人が幸福な社会を実現しなければ、生まれてこないと思う。

若い人たちが夢を持ち、尊敬されるような大人社会を実現させ、掛け声だけでなく、本当の豊かさにつながなければ、子供たちが生まれてきて良かったと思える社会にはなかなかならないと思う。

「いつの時代も子供たちの未来は輝いていなければならない」と思う。

何に使うの 教えて 村の予算 第7回 社会教育費予算について

人間一生懸命勉強、したがって「学校を卒業したから勉強はもう終わり」ということではない、というところから「生涯学習」という言葉が出てきて10数年たちます。この考え方はかなり多くの方に浸透してきたと言ってよいでしょう。

以前は「学校教育」と「社会教育」とに分かれていたのですが、現在は生涯学習の中に「学校教育」も入っているという考え方に変わってきました。ですから村の公民館では、子供の学習も「ふるさと学習」「感動学習」ということで、かなり多く取り入れています。小学4年生の「いいたて大自然塾」に30万円、5年生の「いいたて発未来への旅」に80万円、6年生の「海洋アドベンチャースクール」に500万円などです。

村では、以前今後重要視されるであろうこの「生涯学習」というものを少しでも理解してもらおうと公民館の玄関に看板を上げました。「いきいき いいたて いい出会い」です。生涯学習って何？ととりあえず「いい出会い」をたくさんしてください。人や本や場所との出会い、スポーツとの出会い、感動や心と心のふれあいとの出会いなど「出会い」は数限りなくあるはず。その出会いから何かしら得るものが必ずあるはず…その出会いを積み重ねていくことが「生涯学習」になるのではということです。村公民館では、年間多くの催し、行事、事業、そしてイベント等を行っていますので、まずはぜひ参加してみてください。ま

た自分たちで「こんなことをしたい」というのにも支援の方法があるかも知れませんので、ご相談してみてください。

「文化やスポーツにふれる機会を」ということでの「ハーフチケット」に90万円、文化展に約40万円、各地区の生涯学習支援に200万円、また各種の事業推進に80万円程の予算をとっています。

スポーツの方は球技大会・体育大会に120万円、24時間リレーマラソンに交付金として50万円などです。

村では家族を考える事業に力を入れており、家族映画祭に30万円、ふれあいコンサートに80万円、わが家の10大ニュースに2万円、初日の出ふれあい家族駅伝に10万円、男女共同のセミナーに10万円、そして今年度から3年計画の若妻の翼パートⅡに620万円程の予算化をしています。若者向けにも成人式22万円、ジュニアリーダース育成事業に10万円、ホント（本と）の出会い運動に26万円です。

もちろん、年輩の方々への事業も盛りだくさんです。自分の人生のデザイナーは自分です。生涯学習で自分自身の人生をデザインしてください。

詳しいことは村の予算書P74～79を読んでみてください。

（次回は総務費予算についてです）